

# 令和四年度 学校関係者評価報告書

学校法人 秋吉学園 穴生幼稚園

## 1. 本園の教育目標

いつも明るく、心も体も強い子  
自分で考え、自ら気づく子  
ありがとう、ごめんなさいが素直に言える子  
物を大切にし、人に迷惑をかけない子  
規則を守り、集団生活に順応する子

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念・教育方針のもと、各評価項目について自己点検・自己評価することで、教職員が自らを振り返り、保育内容の改善に取り組んでいく。コロナ禍でも変わらぬ保育を提供していく。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	保育計画と内容	年齢や個性に応じた保育計画を全体で話し合い実践する。
2	環境の構成	保育者としての言葉使い、内容を十分気を付けている。感染対策の中でマスクを外して保育を行うことで、子ども達の育ちを制限しない取り組みをしている。
3	保護者への対応・家庭支援・地域の関り	園での様子や気になったことは、口頭や連絡帳を通じて保護者へ確実に伝え、問い合わせなどは早めの回答を心掛けている。

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

自己評価の公表を始めて今年で7年目になった。今年は門扉の取り換えと園名パネルの付替えなど、毎年防犯・安全面で少しずつではあるが対応を行っている。園児のバス置き去り対策で4重のチェックを行っている事や出席確認の方法では、行政から「適切」との評価をいただいた。また教育面では「適切な支援」について1年以上の研究を行い、知見を深めることができた。その内容を研究発表し良い評価をいただくことができた。より質の高い保育を目指し、日頃の保育内容に落とし込んで実践している。3年間のコロナ禍で、第8波ではこれまでになく園関係者への影響が見られた。できる限りの対策を講じてはいるが、園内にまん延した可能性があり大変申し訳なく感じている。また、コロナに関する園内の情報公開内容も、今後の反省点として挙げることでより良い情報開示に向けて取り組んでいく。

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育計画と内容	園児一人一人の発達に即した計画の作成と実行がより必要。より柔軟サポート体制を敷くことで一人も取り残さない保育を目指す。
2	保育のあり方・子どもへの対応	コロナ禍での子ども達の心身の発散を目的に保育を見直し実践し、早期に全体へ展開する。
3	地域の関わり	緊急を要する場合の連絡漏れ、連絡の内容をより配慮する必要がある。

## 6. 学校関係者の評価

- ・YouTube 配信や「今週の〇〇くん」は園での様子が見れてありがたかったです。
- ・少人数制ということもあって、担任の先生以外も園児の名前や様子を把握されていて、安心感がありました。
- ・実施できなかった水あそびでは、次年度では予備日を設けて確実に実施できるよう調整していただきたいと思います。
- ・年間行事に記載のあったみかん狩りも、保護者に説明なく実施されなかったのは非常に残念でした。
- ・4月からの慣らし保育の分散登園も新入園児のみでよいのではないかと思います。

学校関係者評価委員  
委員会実施日

令和5年2月27日